

## 側溝の表現方法【3D パース】

文書管理番号：1310-01

### Q. 質問

3D パースに側溝を表現したい。

側溝部品を配置したが、3D パースに表示されない。

### A. 回答

側溝は、 (外構図) から配置でき、入力方法がいくつかあります。また、入力方法により、3D パースへの表示の有無が変わり、 (側溝部品) から U 字溝やコンクリート蓋、グレーチングを配置した場合、図面やプレゼンボードの配置図には表示されますが、3D パースには表示されません。

3D パースで側溝を表現する場合は、 (外構部品) の側溝またはグレーチングを配置します。

ここでは、外構部品を利用した側溝の表現方法を説明します。



 (側溝部品) の入力方法について、詳しくは A's (エース) のヘルプをご覧ください。

## 操作手順

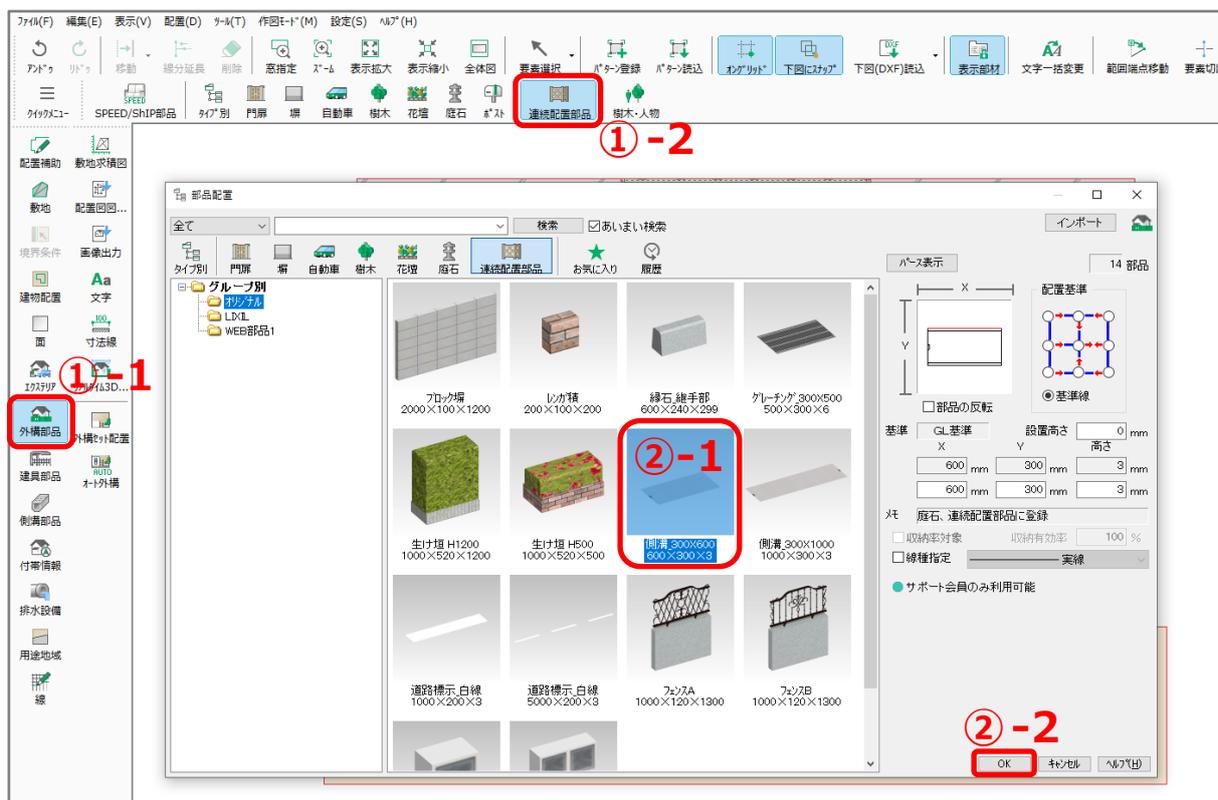
ここでは、外構図で敷地等の入力が完了している状態から説明します。

- ① (外構図)で (外構部品)の (連続配置部品)をクリック

\* 部品配置の画面が表示されます。

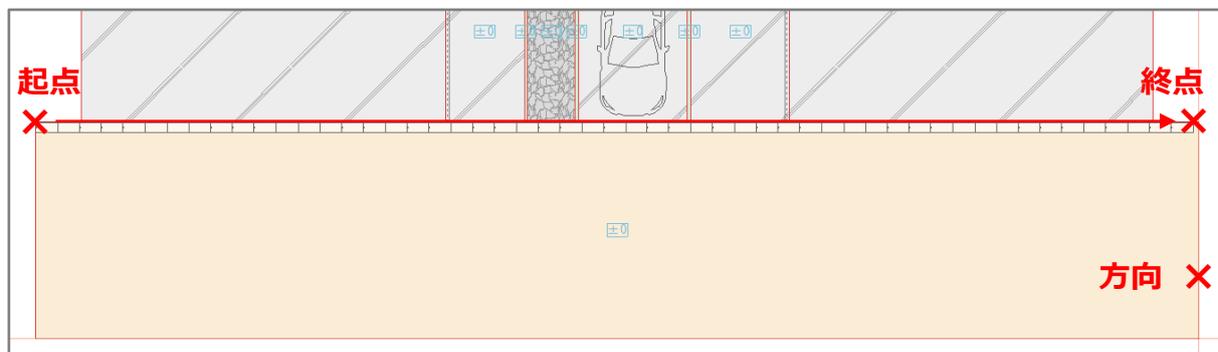
- ② 配置したい部品をクリックし、「OK」をクリック

\* ここでは、オリジナルグループの「側溝 300×600」を選択します。



- ③ (塀面配置)モードになっていることを確認し、側溝を配置したい位置に起点—終点—方向を指示

\* 部品の側溝が配置されます。



- \* 3D パースで部品の側溝が表示されていることを確認します。

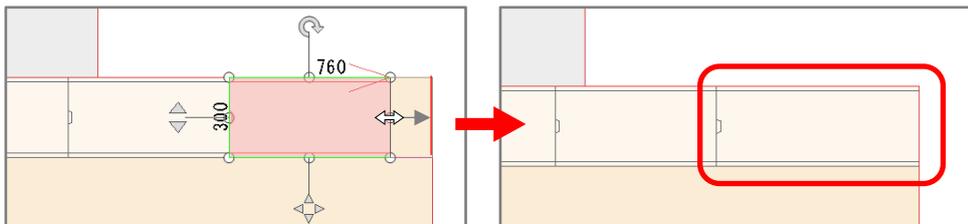


- \* 部分的にグレーチングにしたい場合は、配置したコンクリート蓋の一部を削除し、グレーチングのサイズを調整して配置します。



### 【参考】

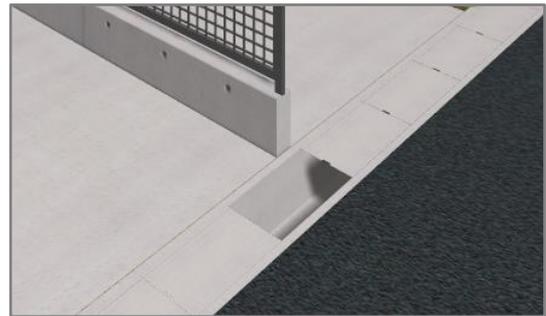
連続配置部品では、配置したい範囲と部品サイズによって、終点側に部品が入らない場合があります。終点で指示した位置まで部品を配置したい場合は、配置済みの部品サイズを調整するか、 (外構部品)の  (庭石)にある側溝を調整して配置します。



## 参考

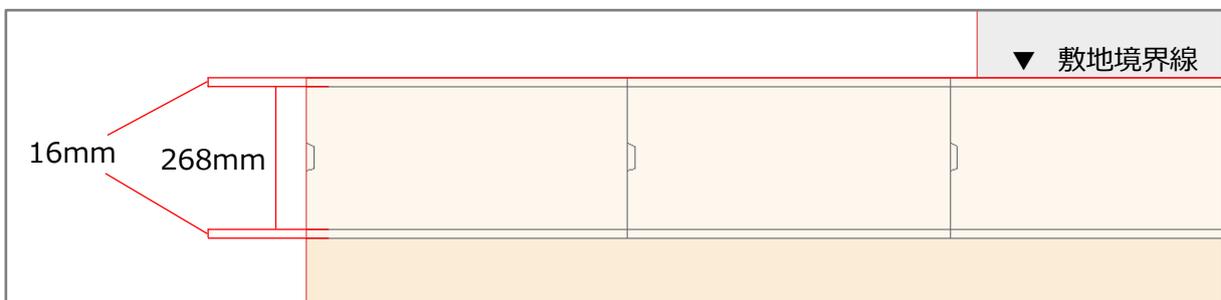
一部コンクリート蓋などを配置せず、溝がある表現を行う場合は、敷地面を分割し、高さを調整して表現します。

側溝の下には高さ設定ができる面（高さ線）が入っている状態で行ってください。



- ① (配置補助) の (オフセット配置) で、部品の線に沿って補助線を配置

\* ここでは、敷地境界線から「16」mm、「268」mm、「16」mmの補助線を配置します。

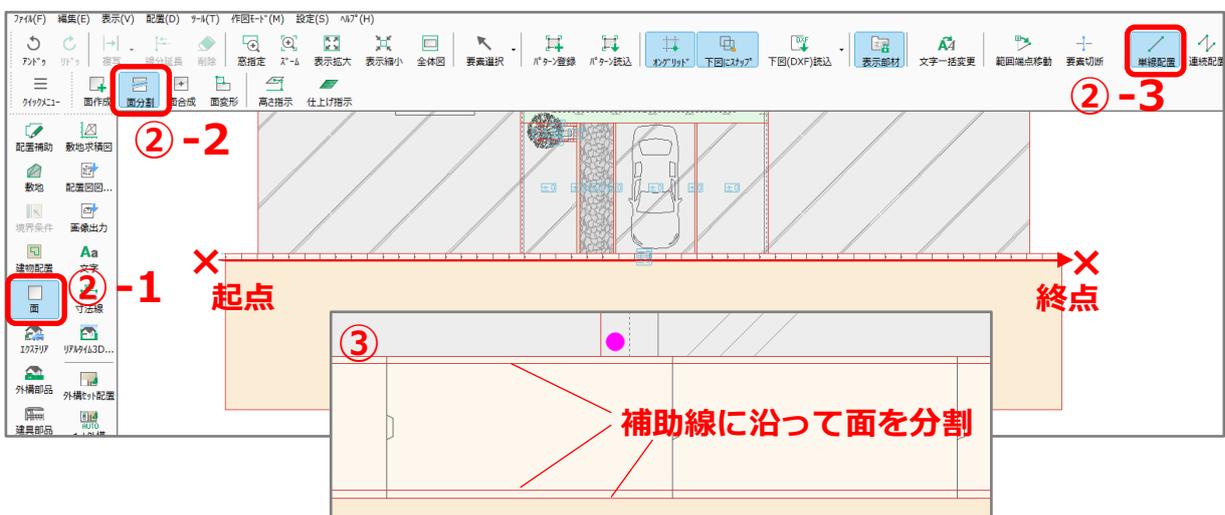


\* 外構部品を配置する際に (部品にスナップ) を ON にして配置した場合は、線分にスナップできるので、配置補助の (連続配置) で部品の線分にスナップさせて補助線を配置することもできます。

- ② (面) の (面分割) をクリックし、 (単線配置) をクリック

- ③ 補助線に沿って面分割を実行

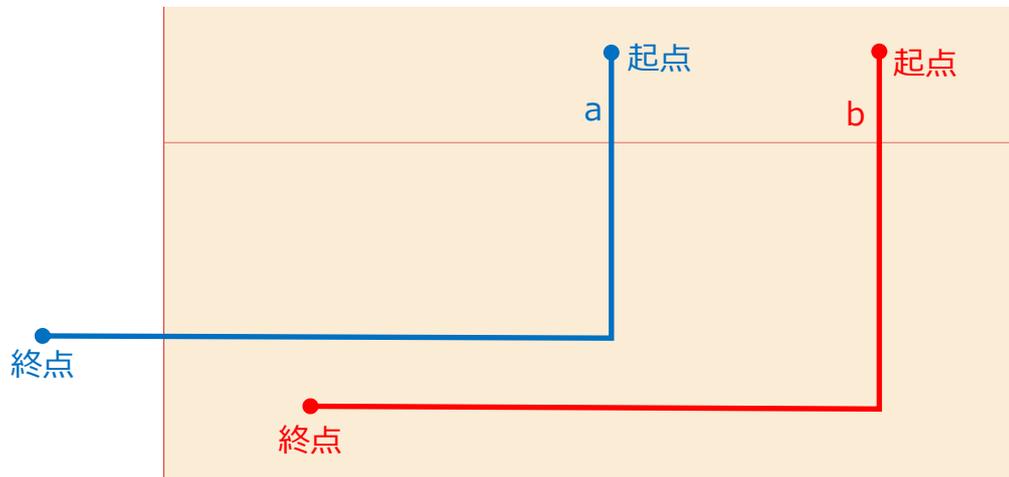
\* 部品の線に沿って、面が分割されます。



**【注意】 面分割**

面分割は、対象となる面を横断するように分割線を指示すると分割され、面を横断せず面の途中で指示すると分割されません。

例えば、下図に示す a の分割線のように、起点と終点を対象となる面の外側で指示していれば面分割されますが、b のように終点を面の内側で指示していると面分割されません。



④ (要素選択)をクリックし、外したいコンクリート蓋（側溝部品）を選択

⑤ (削除)をクリック

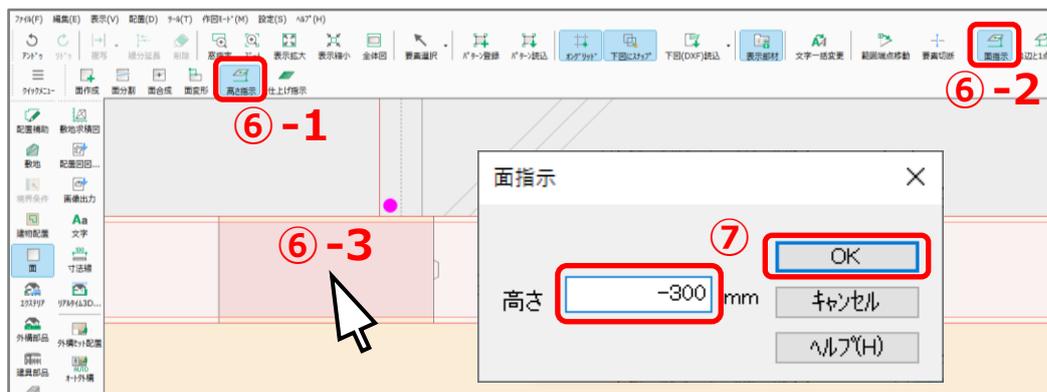
\* [Delete]キー、またはツールバーの「編集」⇒「削除」からでもかまいません。

⑥ (高さ指示)の (面指示)をクリックし、溝にする面をクリック

\* 面指示の画面が表示されます。

⑦ 高さを「-300」mm にして「OK」をクリック

\* クリックした面の高さが「-300」mm になります。



- ⑧  (3D パース)で選択モードを「部材」に変更
- ⑨ 側溝をクリックしてから、[Ctrl]キーを押しながら部材色変更したい敷地面を 3 か所クリック
- ⑩ 右クリックメニューの「部材色変更」から、コンクリート蓋と同じ色に変更

